



エイラクブカの内蔵に見入る参加者  
=下田市三丁目の下田海中水族館

# 「伊豆の海と生物」学ぶ

県内中、高  
理科教員ら  
下田、南伊豆で研修

県内の中学・高校の理科(生物)教員でつくる日本生物教育会静岡県支部は25日、下田市と南伊豆町で研修会を開いた。教員17人が参加。26日までの2日間、伊豆の海に関連する施設や団体を訪ね、伊豆の海に親しむ。教員の資質の向上と親しむことを目的に、毎年夏と陸(しんぼく)を深める「冬」に実施している。今回



伊豆新聞 下田支社  
下田市東本郷2-9-15  
〒415-0035  
電話0558(22)2555  
FAX0558(22)2556  
松崎支局  
電話0558(42)3225  
FAX0558(43)0483  
伊豆新聞本社  
〒414-0054  
伊東市鎌田1290-6  
電話0557(36)1234  
伊豆新聞ニュースサイト  
<http://izu-np.co.jp/>

は「伊豆の海と生物」をテーマに、初日は南伊豆町のヒリン浜でのシユノ

は「伊豆の海と生物」をテーマに、初日は南伊豆町のヒリン浜でのシユノ

は「伊豆の海と生物」をテーマに、初日は南伊豆町のヒリン浜でのシユノ

「ボ」を訪れ、参加者はカメラ片手にエイラクブカというサメの解剖を見学。同館スタッフがサメの特徴などを説明すると、メモを取るなどして熱心に聴いた。